



 新田ゼラチン株式会社

2026年3月期

# 決算説明及び 中期経営計画進捗について

2026年5月14日

証券コード / 4977

# INDEX

1 2026年3月期 決算概要 …P.3

2 2027年3月期 業績予想 …P.10

3 2024-2026中期経営計画 進捗状況 …P.14

# 決算ハイライト

## 2026年3月期 決算

- 1 日本や北米でのゼラチン販売減少により、売上高は減少
- 2 収益性は引き続き好調に推移し、営業利益は2期連続の過去最高を達成
- 3 営業利益の増加により、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も過去最高に

## 2027年3月期 通期予想

- 1 日本での拡販、北米でのアライアンス活用により売上高を拡大し、2025年11月公表の中計目標を上回る営業利益の達成を目指す

# 連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

- 日本や北米での販売減少により減収も、収益性改善が進捗し増益に
- 前期・当期ともに子会社清算に伴う法人税等調整額の計上により、最終利益を押し上げ

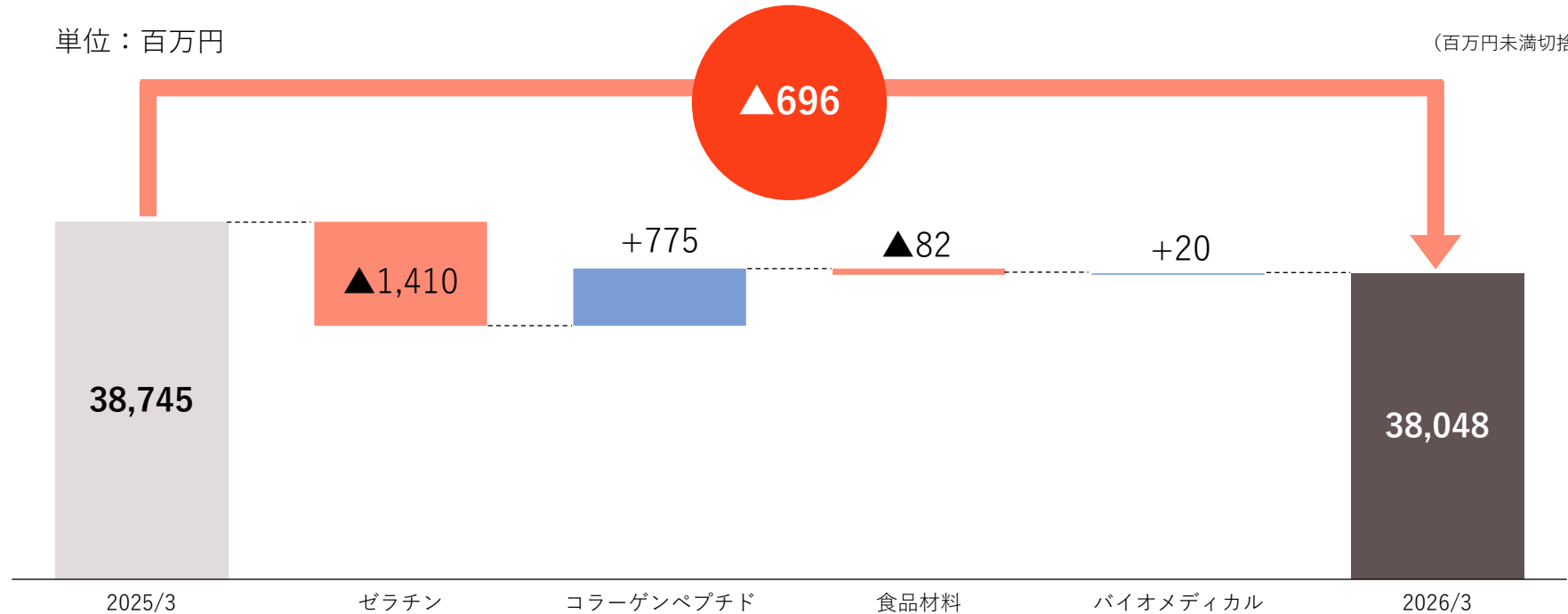
単位：百万円	2025/3	2026/3	前期比		2026/3	
	実績	実績	増減	対比	11/12予想	対比
売上高	38,745	38,048	▲ 696	▲ 1.8%	40,000	▲ 4.9%
売上総利益	9,960	10,980	+ 1,020	+ 10.2%	10,600	+ 3.6%
営業利益	3,930	4,664	+ 733	+ 18.7%	4,000	+ 16.6%
営業利益率	10.1%	12.3%	+ 2.1pt	—	10.0%	—
経常利益	4,145	4,783	+ 638	+ 15.4%	4,100	+ 16.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,159	3,282	+ 123	+ 3.9%	3,100	+ 5.9%

# 連結売上高増減要因

- 北米での在庫販売分の減少や、日本での写真用販売の減少などにより、ゼラチン販売が減少
- コラーゲンペプチドは、北米でのプロテイン需要の拡大を確実に捉え、販売が伸長

単位：百万円

(百万円未満切捨て)



# 製品区分別販売概況

単位：百万円

2025/3

売上高

2026/3

(百万円未満切捨て)

**ゼラチン**
**28,821**
▲4.9%
**27,410**

- 日本では食品用とカプセル用が引き続き堅調も、写真用は減少
- 北米では前期1QのNGU\*生産停止後の在庫販売分が減少
- インドではソフトカプセル用、ハードカプセル用が引き続き好調に推移

\*ニッタゼラチンユーエスエーInc.
**コラーゲン  
ペプチド**
**6,489**
+12.0%
**7,265**

- 日本では当社製品を使用した顧客商品の販売が減少
- 北米ではプロテイン需要が引き続き旺盛で、販売は好調
- インド、アジア市場は引き続き堅調

**食品材料**
**3,085**
▲2.7%
**3,002**

- 収益性向上を目的とした商品構成見直しの進展に伴い減収

**バイオ  
メディカル**
**349**
+5.8%
**369**

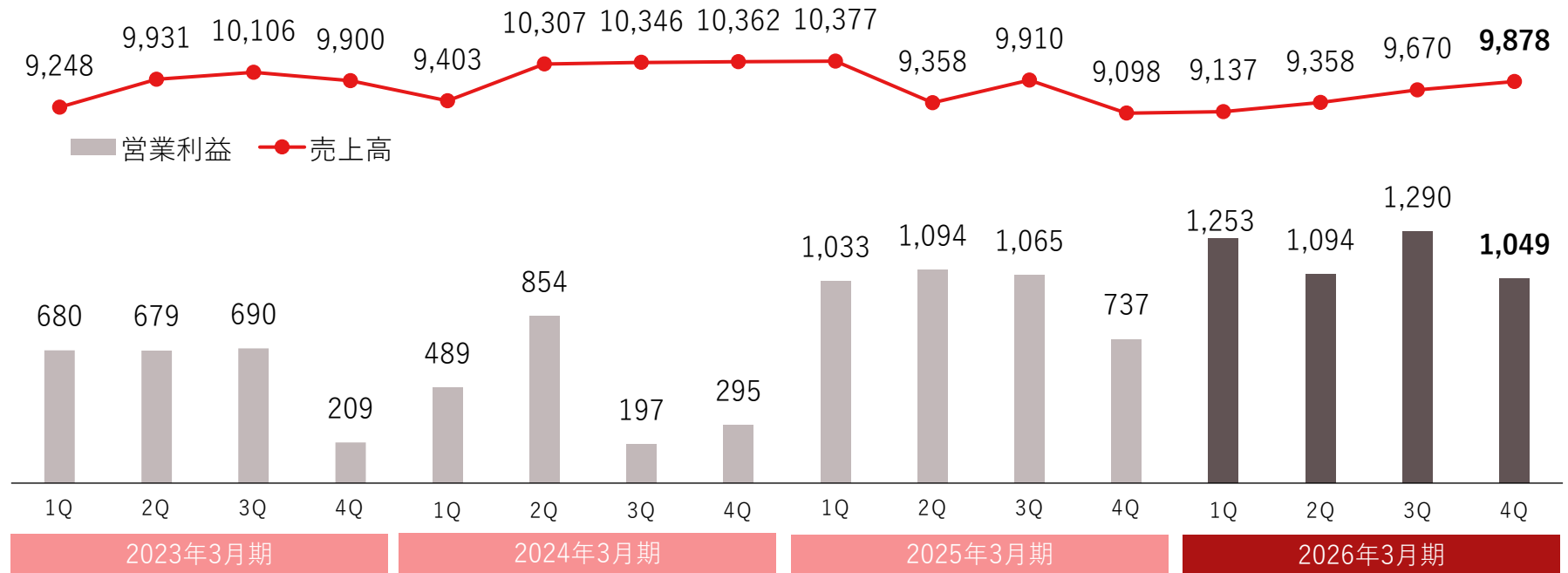
- 日本では、主要顧客への販売量低下により販売が減少
- 海外向けの販売が引き続き伸長

# 四半期別連結業績推移

第4四半期は販管費の一時的増加により第3四半期より減益となるも、対前期では増益を堅持

単位：百万円

(百万円未満切捨て)



# 連結貸借対照表

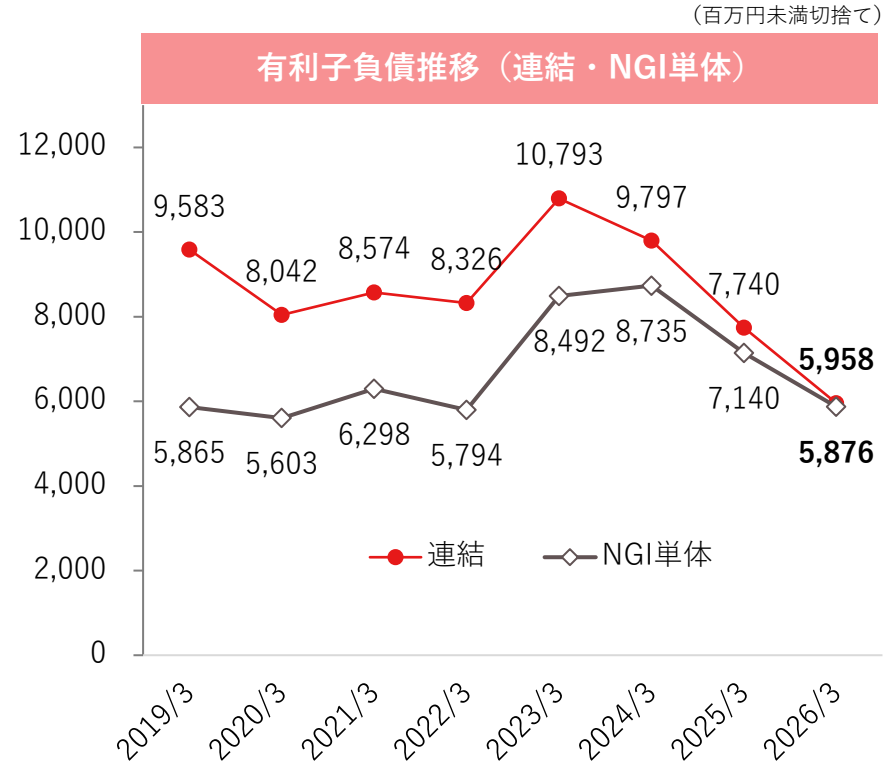
- ERP導入やニッタゼラチンインディアLtd.での増産工事進展などにより、固定資産が増加
- 有利子負債の削減は順調に進捗中

単位：百万円

2025/3期末対比

流動資産		負債	
<b>+739</b>		<b>▲1,798</b>	
現金・預金	+1,371	支払手形・買掛金	+214
受取手形・売掛金	▲1,167	短期借入金	▲862
棚卸資産	+273	長期借入金*	▲868
固定資産		純資産	
<b>+1,718</b>		<b>+4,255</b>	
有形固定資産	+527	株主資本計	+2,823
無形固定資産	▲105	その他包括利益累計額	+733
投資その他資産	+1,296	非支配株主持分	+698
<b>総資産合計 42,870 (+2,457)</b>			

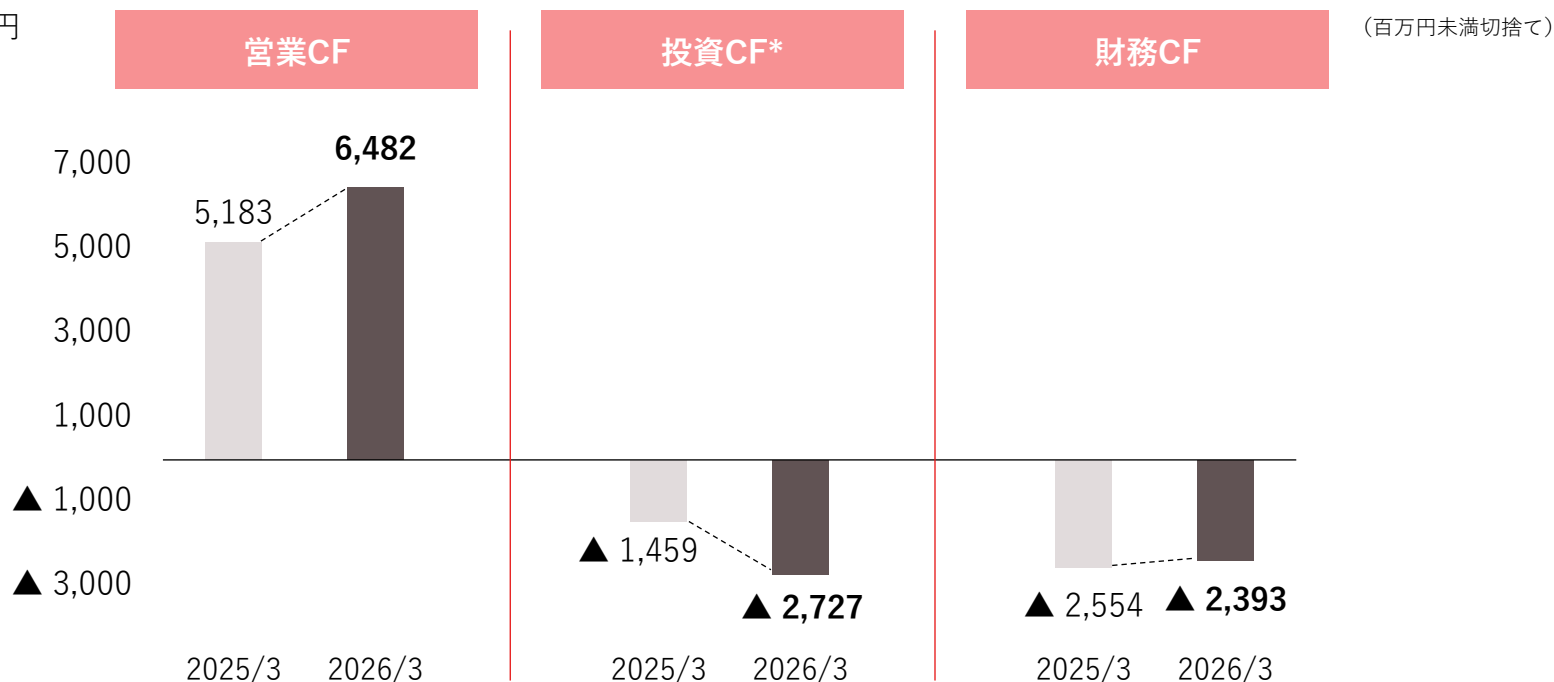
\*1年内返済予定を含む



# 連結キャッシュ・フロー計算書

業績好調により営業CFが増加。ERPやインドへの増産投資による支出、借入金の返済を実施

単位：百万円



\*定期預金の預入・払戻を除く

# 2027年3月期 業績予想

- 日本での拡販、北米でのアライアンス活用により売上高を拡大
- 原材料価格上昇\*や人件費、減価償却費等の増加を織り込んだ上で、増益を目指す
- 子会社清算に伴う法人税等調整額の影響がなくなることから、最終利益は減益となる予想

\*中東情勢の影響は織り込んでいない  
(P.13参照)

(百万円未満切捨て)

単位：百万円	2026/3	2027/3	前期比	
	実績	予想	増減	対比
売上高	38,048	<b>43,000</b>	+ 4,951	+ 13.0%
売上総利益	10,980	<b>12,000</b>	+ 1,019	+ 9.3%
営業利益	4,664	<b>4,700</b>	+ 35	+ 0.8%
営業利益率	12.3%	<b>10.9%</b>	▲1.3pt	—
経常利益	4,783	<b>4,800</b>	+ 16	+ 0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,282	<b>2,400</b>	▲ 882	▲26.9%

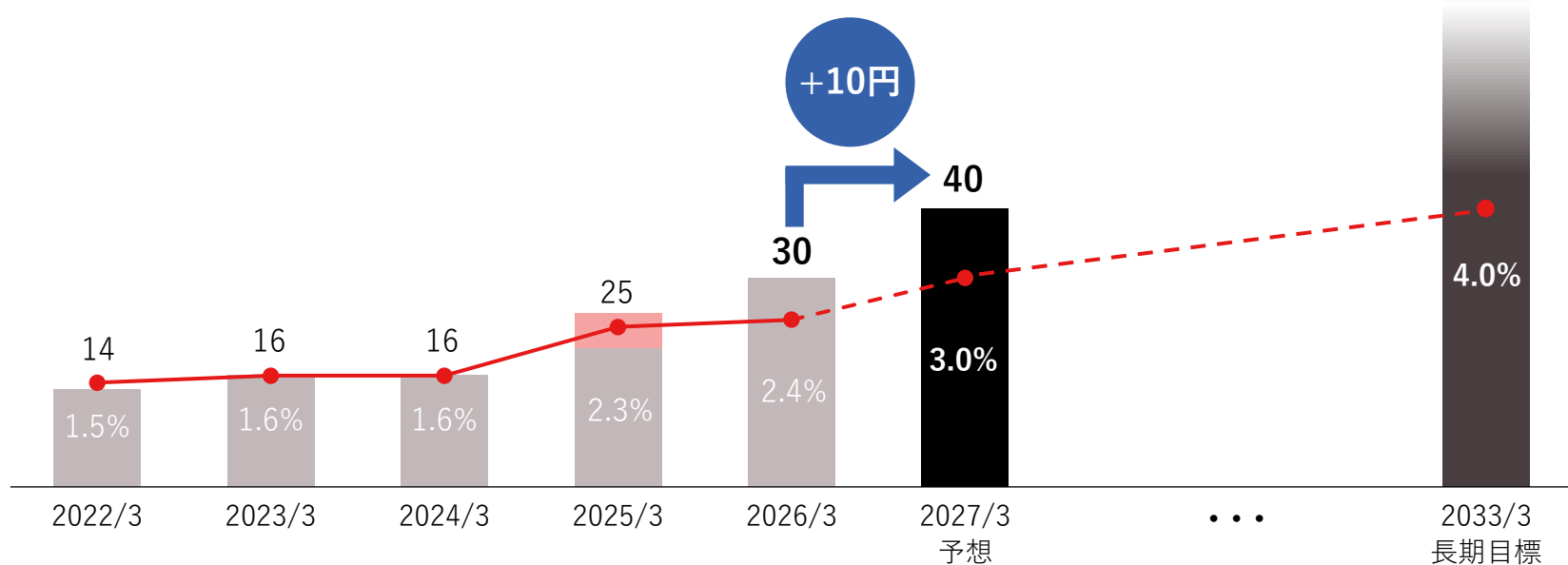
2027/3 中計目標	
2025/11公表値	増減
43,000	—
—	—
4,500	+ 200
10.5%	+ 0.5pt
—	—
—	—

# 配当の状況

- DOE3.0%の配当目標に基づき、2027年3月期の年間配当は40円を計画
- これにより配当性向は30%程度となる見込み

■ 普通配当 (円) ■ 特別配当 (円) ● DOE

配当目標 (2025/11公表)	2027年3月期 : DOE3.0%
	2033年3月期 : DOE4.0%



※ DOE (株主資本配当率) = 配当総額 / (純資産 - 非支配株主持分)

# トピック

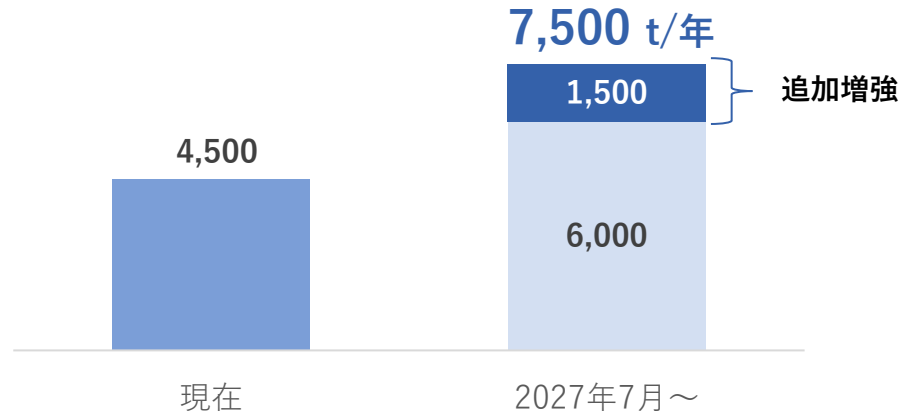
## 1. ニッタゼラチンインディアLtd.の生産能力増強について

- 2025年7月にコラーゲンペプチドの生産能力を引き上げたが、旺盛な顧客要望に応えるため、更なる増産を決定（1,150t/年→1,800t/年）
- ゼラチンについても、インド国内のカプセルメーカー向けのほか、北米、アジア、欧州での今後の需要拡大を取り込むべく、増強計画を更新（当初計画6,000t/年→更新後7,500t/年）

### コラーゲンペプチド



### ゼラチン



# トピック

## 2. 中東情勢の影響について

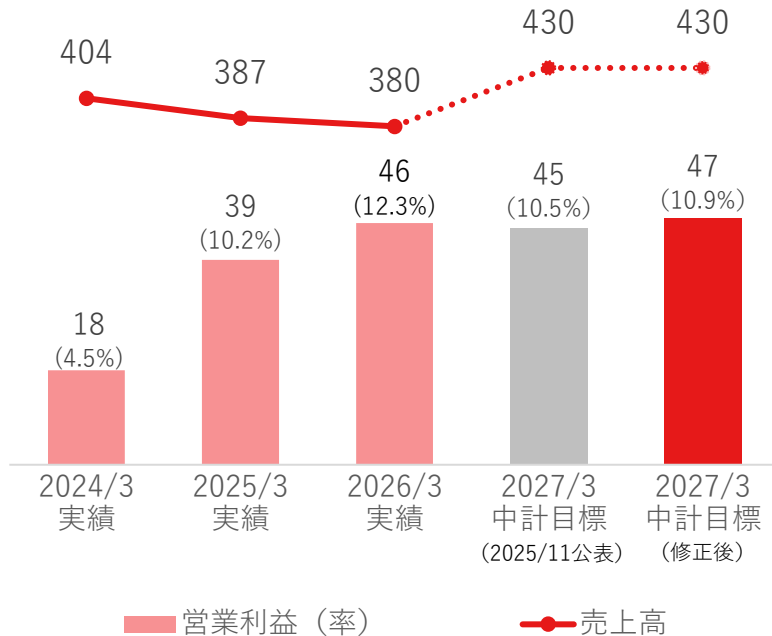
<p><b>想定される影響</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気・ガス等のユーティリティ価格や輸送費などへの波及、また製品の梱包用資材などの価格上昇に繋がる可能性がある</li> </ul>
<p><b>対応方針</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>影響額については現在精査中で、2027年3月期の業績予想には織り込んでいない</li> <li>上昇分のコストについては、生産効率の向上や販管費の抑制等によって吸収するとともに、状況に応じて製品価格に適切に反映させることで、業績への影響を最小化する方針</li> </ul>

# 2024-2026中期経営計画 進捗状況

# KPIの進捗状況

- 各指標とも中計最終年度の目標達成に向けて順調に進捗
- 営業利益の目標を上方修正し、3期連続での過去最高益を目指す

単位：億円



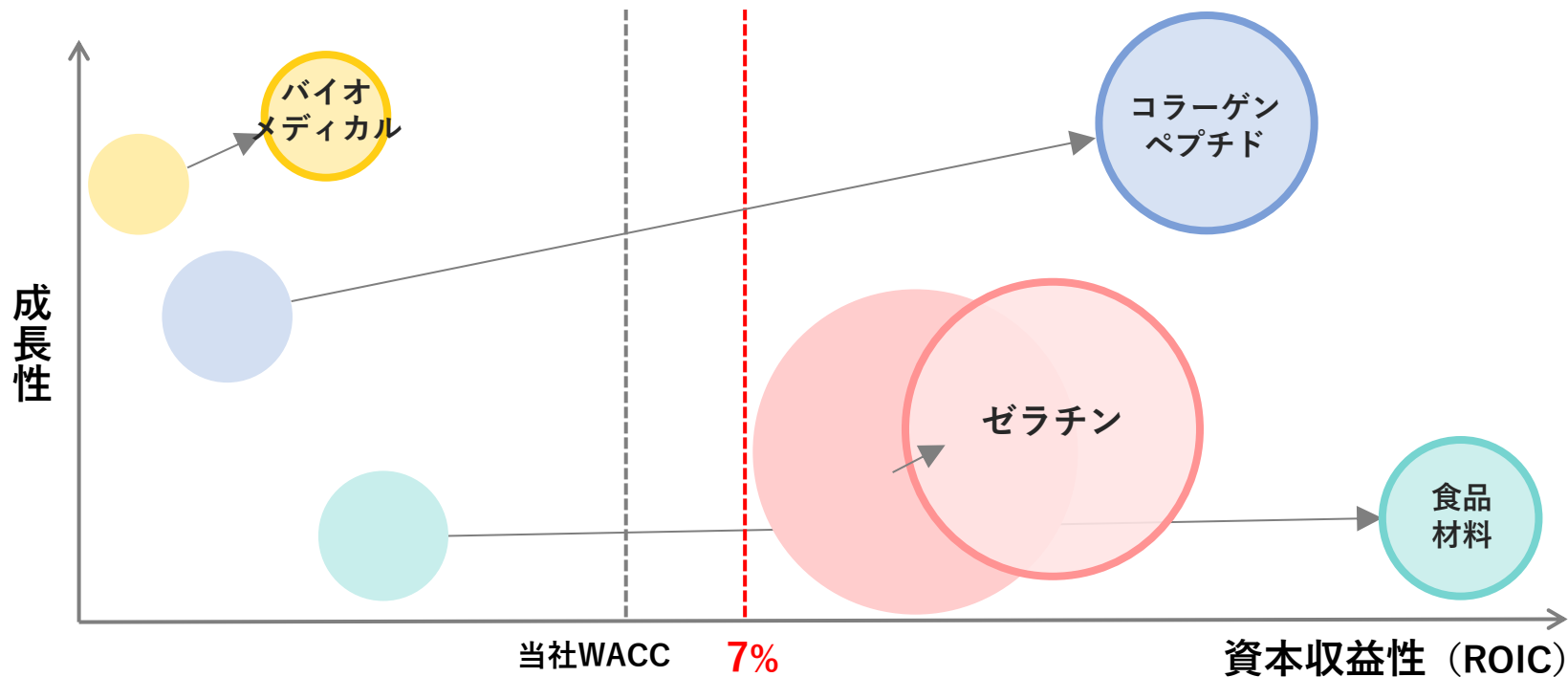
	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
	実績	実績	実績	目標
ROE	▲9.9%	16.3%	14.6%	10.0%
ROIC	4.4%	9.0%	10.0%	9.0%
CCC*	5.9ヵ月	5.3ヵ月	5.3ヵ月	5.0ヵ月

\*キャッシュ・コンバージョン・サイクル

# ROIC改善状況

収益改善が進み、バイオメディカル以外は当社WACC（5～6%程度と推計）及び目標7%を超過

## 製品区分別ポートフォリオ



※前中計から2026年3月期までの改善状況（イメージ）

# 各テーマの進捗状況

## 概ね順調に進捗。バイオメディカルの黒字化、CCC改善、ERP導入が課題

- 順調に進捗
- 足元未達も達成見込み
- 課題達成に向け推進中

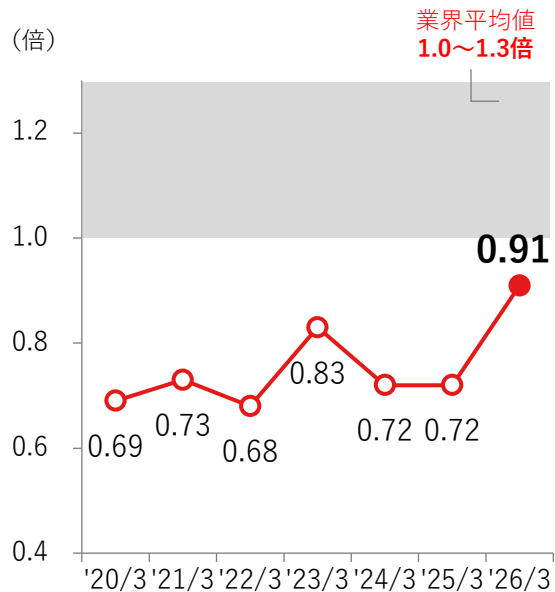
	3ヵ年目標	2026年3月期実績	進捗
収益力の 抜本的 強化	生産体制の再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インド拠点の増産計画が順調に進捗</li> <li>・ 長期経営構想実現に向け、新工場建設および大阪工場再編の検討を開始</li> </ul>	<span style="color: green;">●</span>
	バイオメディカルの黒字化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外での拡販等を進めるも進捗遅延</li> </ul>	<span style="color: red;">●</span>
財務 戦略	設備投資（戦略投資：43億円、更新投資：55億円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定中の主な戦略投資は順調に進行中</li> </ul>	<span style="color: green;">●</span>
	配当方針（最終年度 DOE3.0%以上）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終年度(2027年3月期)の配当目標をDOE：3.0%に引き上げ</li> </ul>	<span style="color: green;">●</span>
	PBR改善 （1.0倍以上、目標株価1,100円以上）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好調な業績を背景に株価は目標を大きく上回って推移（年初来高値1,487円／期末終値1,209円）</li> <li>・ 足元のPBRは0.91倍と一時的な調整局面も、成長戦略の推進により1.0倍超定着へ</li> </ul>	<span style="color: green;">●</span>
	キャッシュ創出力強化（CCC* 5.0ヵ月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕入先・販売先との取引条件見直し進むも、在庫削減が途上</li> </ul>	<span style="color: yellow;">●</span>
経営基盤 の強化	事業基盤の再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原料調達：調達ソースの多様化が順調に進捗</li> <li>・ ERP：2026年1月稼働予定を延期（稼働時期は検討中）</li> </ul>	<span style="color: red;">●</span>
	グローバルガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外子会社に対する監督体制を強化</li> </ul>	<span style="color: green;">●</span>
	人的資本の価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価制度の見直しや人材マネジメントポリシーの制定を実施</li> </ul>	<span style="color: green;">●</span>

\*キャッシュ・コンバージョン・サイクル

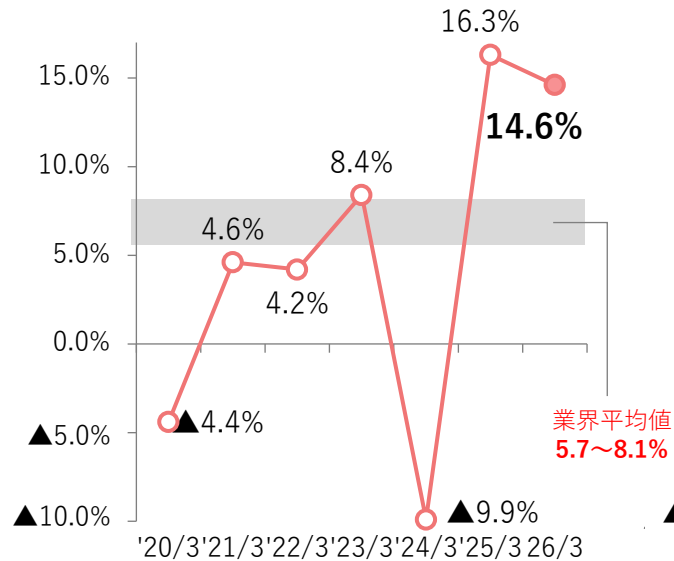
# PBR改善状況

引き続き収益性の改善に努めるとともに、成長投資と株主還元の両立により市場期待の最大化を図る

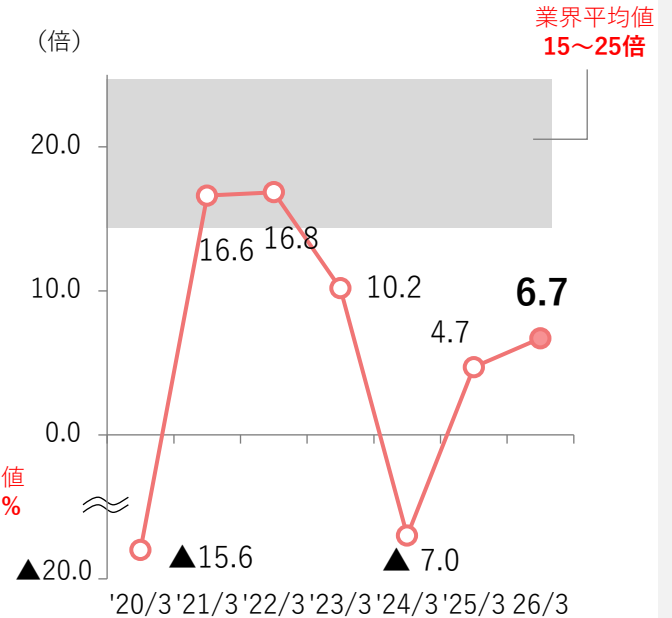
PBR推移



ROE推移



PER推移



# 長期経営構想の実現に向けて

## 長期経営構想

### 収益力及びキャッシュ 創出力の抜本的強化



売上高 800億円  
営業利益 100億円  
営業利益率 12.5%  
ROE 13.0%  
ROIC 12.0%

グローバル展開を加速し  
飛躍的な成長の実現へ

2027年3月期

売上高 430億円  
営業利益 47億円  
営業利益率 10.9%  
ROE 10.0%  
ROIC 9.0%

将来の飛躍に  
向けた基盤強化

2024年3月期

売上高 404億円  
営業利益 18億円  
営業利益率 4.5%

選択と集中

2021年3月期

売上高 305億円  
営業利益 13億円  
営業利益率 4.4%

2019/3-2021/3

前々中計

2022/3-2024/3

前中計

2025/3-2027/3

本中計

2033/3

長期目標

# ご案内

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、  
資料作成時点での弊社の判断であります。  
その情報の正確性を保障するものではありません。  
市場環境等の様々な要因により、  
今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。  
ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

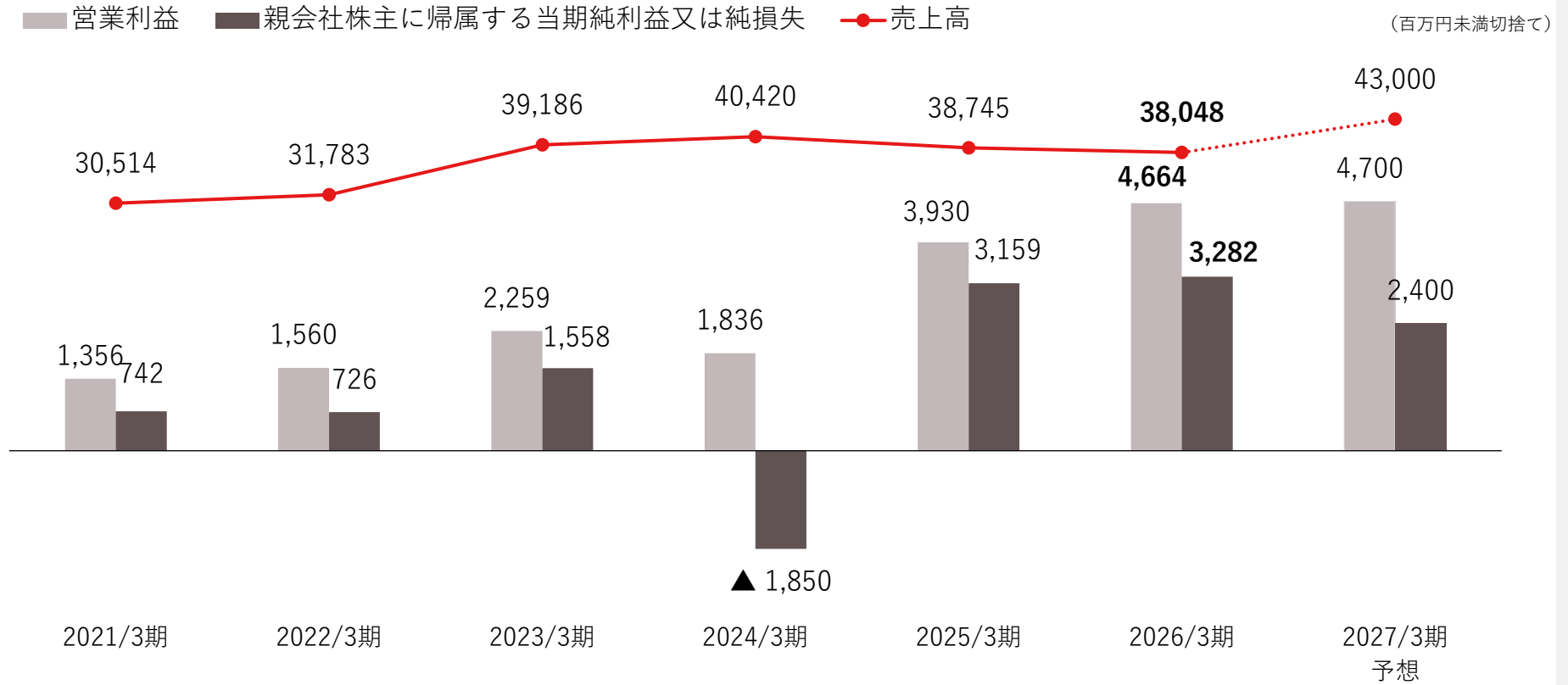
---

新田ゼラチン株式会社

経営企画部 IR・広報チーム

【お問い合わせ】 <https://cloud.swcms.net/nitta-gelatinPublic/ja/ir/inquiry6.html>

# [参考資料] 連結業績推移



## [参考資料] 為替換算レート

### 2026年3月期実績 及び 2027年3月期予想

単位：円	2025/3	2026/3	差異	2027/3	前期差異
	実績	実績		予想	
米ドル	152.47	<b>150.94</b>	▲ 1.53	<b>150.00</b>	▲ 0.94
カナダドル	109.52	<b>109.02</b>	▲ 0.50	<b>109.66</b>	+ 0.64
インドルピー	1.80	<b>1.71</b>	▲ 0.09	<b>1.71</b>	—